

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（1998年7月31日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、高水準かつ安定的なインカム・ゲインの確保とともに信託財産の成長をはかることを目的として運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	ユーロ・ソブリン・オープンマザーファンド受益証券
	マザーファンド	EU加盟国の信用度の高い（A格以上）公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EU加盟諸国の信用度の高い公社債に投資を行います。</li> <li>・ソブリン債券を中心とした公社債からの長期的に安定した利子収入の確保とともに、信託財産の成長を目指します。</li> </ul>	
主な組入制限	ベビーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マザーファンドへの投資は、制限を設けません。</li> <li>・外貨建資産への実質投資は、制限を設けません。</li> </ul>
	マザーファンド	外貨建資産への投資は、制限を設けません。
分配方針	毎年1, 3, 5, 7, 9, 11月の5日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準・市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

### ユーロ・ソブリン・オープン



第107期（決算日：2016年7月5日）  
 第108期（決算日：2016年9月5日）  
 第109期（決算日：2016年11月7日）



#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「ユーロ・ソブリン・オープン」は、去る11月7日に第109期の決算を行いましたので、法令に基づいて第107期～第109期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル **TEL. 0120-151034**  
 (9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)  
 お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

# ◆目次

## ユーロ・ソブリン・オープンのご報告

◇最近15期の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	8
◇1万口当たりの費用明細	9
◇売買及び取引の状況	9
◇利害関係人との取引状況等	10
◇組入資産の明細	10
◇投資信託財産の構成	11
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	11
◇損益の状況	12
◇分配金のお知らせ	13
◇お知らせ	13

## マザーファンドのご報告

◇ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド	14
------------------------	----

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近15期の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク 〔シティ欧州世界国債 インデックス(円ベース)〕		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 率	期 騰 落 率	期 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
95期(2014年7月7日)	7,476	40	0.3	619.19	△0.0	97.1	—	2,393
96期(2014年9月5日)	7,512	50	1.2	625.64	1.0	96.7	—	2,368
97期(2014年11月5日)	7,915	50	6.0	660.06	5.5	96.9	—	2,456
98期(2015年1月5日)	8,187	50	4.1	691.98	4.8	97.1	—	2,509
99期(2015年3月5日)	7,736	50	△4.9	652.71	△5.7	96.5	—	2,242
100期(2015年5月7日)	7,678	50	△0.1	654.60	0.3	96.7	—	2,207
101期(2015年7月6日)	7,500	50	△1.7	650.83	△0.6	97.1	—	2,096
102期(2015年9月7日)	7,398	50	△0.7	642.79	△1.2	96.5	—	2,032
103期(2015年11月5日)	7,370	50	0.3	648.93	1.0	96.3	—	2,017
104期(2016年1月5日)	7,136	50	△2.5	631.48	△2.7	97.4	—	1,908
105期(2016年3月7日)	6,979	50	△1.5	621.70	△1.5	96.8	—	1,860
106期(2016年5月6日)	6,797	50	△1.9	609.72	△1.9	97.4	—	1,808
107期(2016年7月5日)	6,402	50	△5.1	584.22	△4.2	97.1	—	1,686
108期(2016年9月5日)	6,495	50	2.2	597.34	2.2	96.9	—	1,708
109期(2016年11月7日)	6,224	50	△3.4	571.88	△4.3	96.7	—	1,610

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) シティ欧州世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスで、1984年12月末を100とする欧州主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額比率で加重平均し、指数化したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		ベンチマーク 〔シティ欧州世界国債 インデックス (円ベース)〕		債券 組入比率	債券 先物比率
		円	騰落率	円	騰落率		
第107期	(期首) 2016年5月6日	6,797	—	609.72	—	97.4	—
	5月末	6,927	1.9	622.61	2.1	97.4	—
	6月末	6,448	△5.1	581.92	△4.6	95.7	—
	(期末) 2016年7月5日	6,452	△5.1	584.22	△4.2	97.1	—
第108期	(期首) 2016年7月5日	6,402	—	584.22	—	97.1	—
	7月末	6,503	1.6	596.02	2.0	96.9	—
	8月末	6,505	1.6	591.45	1.2	96.9	—
	(期末) 2016年9月5日	6,545	2.2	597.34	2.2	96.9	—
第109期	(期首) 2016年9月5日	6,495	—	597.34	—	96.9	—
	9月末	6,338	△2.4	585.47	△2.0	96.1	—
	10月末	6,230	△4.1	572.52	△4.2	97.0	—
	(期末) 2016年11月7日	6,274	△3.4	571.88	△4.3	96.7	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

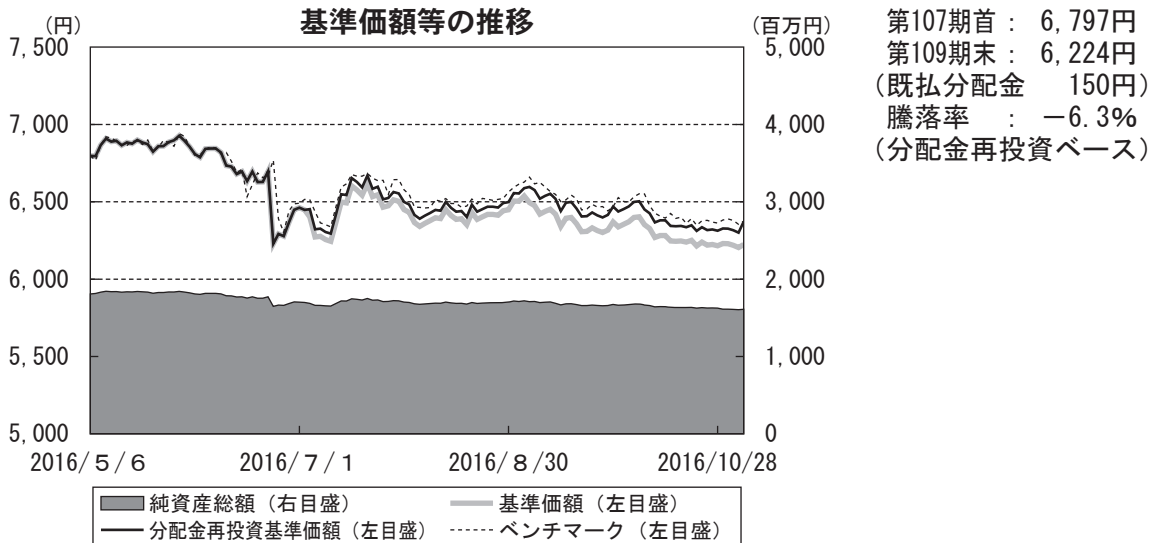
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## 運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について (第107期～第109期：2016/5/7～2016/11/7)

基準価額の動き	基準価額は当作成期首に比べ6.3% (分配金再投資ベース) の下落となりました。
ベンチマークとの差異	ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率 (-6.2%) を0.1% 下回りました。



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

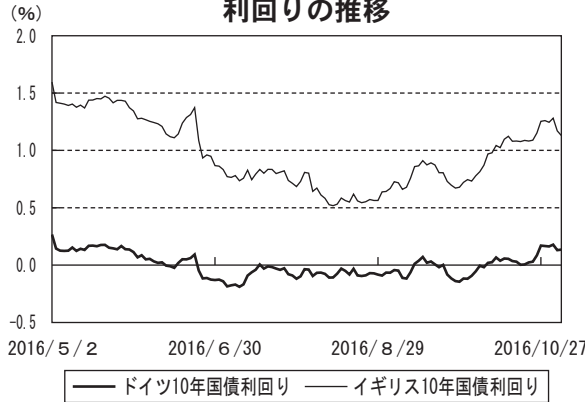
### 基準価額の主な変動要因

下落要因	ユーロや英ポンドが対円で下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。
------	--

投資環境について

(第107期～第109期：2016/5/7～2016/11/7)

利回りの推移

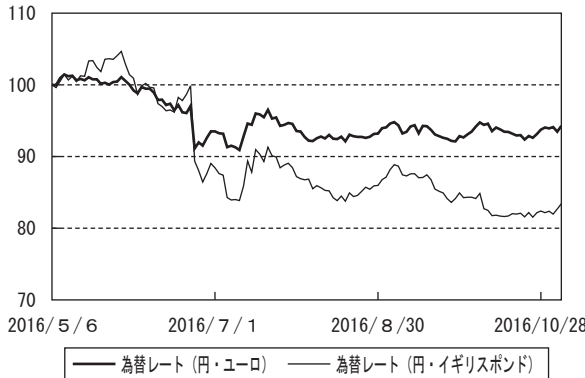


(注) ドイツおよびイギリスの10年国債利回りは、現地前営業日の数値を用いています。

◎欧州債券市況

- ・ドイツ10年国債利回りは、英国の国民投票にて欧州連合（EU）離脱が支持され、リスク回避志向が高まったことなどから一時低下しましたが、その後は欧州中央銀行（ECB）による資産買取が縮小されるとの観測などから、利回りは低下幅を縮小しました。
- ・イギリス10年国債利回りは、英国の国民投票で、EU離脱が支持され、景気に対する不透明感などを背景に英国中央銀行（BOE）が利下げを実施したことなどから、利回りは低下しました。

為替市況の推移  
(当作成期首を100として指数化)



◎為替市況

- ・ユーロは、英国のEU離脱を巡る国民投票や欧州の銀行に対する懸念などを背景にリスク回避志向が高まったことやECBによる追加金融緩和政策を受け、円に対して下落しました。
- ・英ポンドは、英国の国民投票でEU離脱が支持され、先行きに対する不透明感が高まったことや、それに伴いBOEが利下げを実施したことなどを背景に、円に対して下落しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

## &lt;ユーロ・ソブリン・オープン&gt;

- ・ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ちました。

## &lt;ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド&gt;

- ・基準価額は当作成期首に比べ、5.7%の下落となりました。
- ・欧州連合（EU）加盟国の国債・政府保証債、事業債等、信用度の高い公社債（A格以上）を主要投資対象とし、これらの債券を高位に組み入れて運用を行いました。

## ◎国別資産配分

- ・ユーロ圏は、ECBによる金融緩和政策の継続が見込まれたことなどから、ベンチマークに対してアンダーウエイト（投資比率を基準となる配分比率より少なくすること）を維持しました。
- ・スウェーデンは、景気が底堅く推移していることなどを背景に、ベンチマークに対しておおむねオーバーウエイト（投資比率を基準となる配分比率より多くすること）を維持しました。
- ・ノルウェーは、資源価格に安定化の兆しが見られたことや金融緩和観測の後退などから、ベンチマークに対しておおむねオーバーウエイトを維持しました。

## ◎デュレーション（金利感応度）

- ・ECBによる金融緩和政策の継続が見込まれるものの、域内の景気は緩やかながらも堅調に推移しており、金融緩和政策に対する不透明感が高まりやすいとみられることなどから、デュレーションはベンチマークに対しておおむね中立としています。

## ※デュレーション

「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

## ◎為替取引

- ・作成期の初めは、資源価格の安定化の兆しなどを背景に5%程度のノルウェークローネ買い、2.5%程度のユーロ及び2.2%程度のスウェーデンクローネ売りとなりました。
- ・作成期末は、資源価格の安定化の兆しなどを背景に2.0%程度のノルウェークローネ買い、及びECBによる金融政策の不透明感が高まっていることなどから2.7%程度のユーロ買いを行いベンチマークに対するアンダーウエイト幅を縮小しました。また、米国大統領選挙に伴う不透明感などから4.6%程度の日本円買いとしました。一方、政治的不透明感などを受けて4.8%程度のポーランドズロチ売り及び金融政策の不透明感などから4.5%程度のスウェーデンクローネ売りとしました。

## ◎信用格付

- ・信用度の高いA格以上の公社債を主要投資対象としています。
- ・前記の運用を行った結果、保有しているフランスやベルギー、英国などの長期の債券の利回りが低下（価格は上昇）したことなどがプラスに寄与した一方、ユーロや英ポンドが円に対して下落したことなどから、基準価額は下落しました。

(ご参考)

ポートフォリオの状況

作成期首 (2016年5月6日)

	マザーファンド	ベンチマーク
平均終利	0.69%	—
平均直利	3.03%	—
デュレーション	7.3	7.9

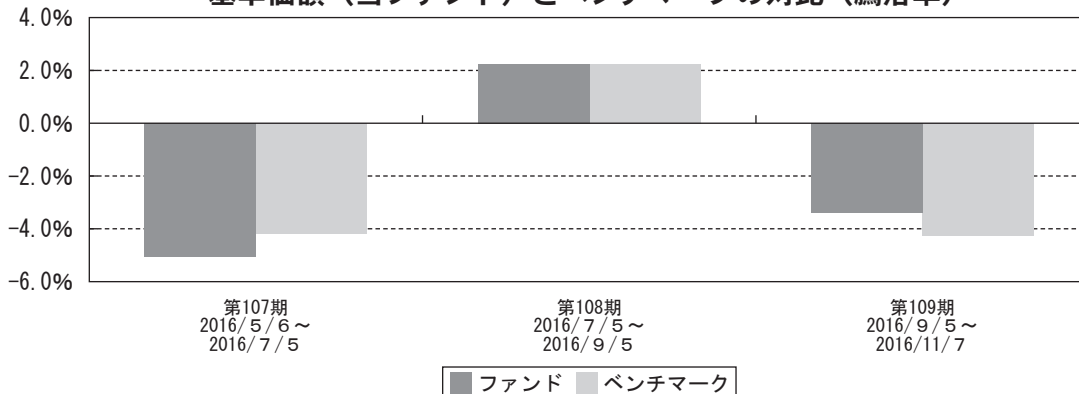
作成期末 (2016年11月7日)

	マザーファンド	ベンチマーク
平均終利	0.47%	—
平均直利	2.72%	—
デュレーション	8.0	8.2

- ・平均終利(複利最終利回り)とは、償還日までの利子とその再投資収益および償還差損益も考慮した利回り(年率)をいいます。
- ・平均直利(直接利回り)とは、利子収入部分にのみ着目した利回り。債券価格に対する利子の割合(年率)をいいます。

当該投資信託のベンチマークとの差異について (第107期～第109期: 2016/5/7～2016/11/7)

基準価額(当ファンド)とベンチマークの対比(騰落率)



- ・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

<ユーロ・ソブリン・オープン>

- ・基準価額は当作成期首に比べ、6.3%(分配金再投資ベース)の下落となり、ベンチマーク(騰落率-6.2%)との乖離は0.1%程度となりました。
- ・信託報酬などの運用上の費用を計上したことなどがマイナスに作用し、ベンチマークに対してアンダーパフォーマンス(運用成果が下回る)しました。

<ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド>

- ・基準価額は当作成期首に比べ、5.7%の下落となり、ベンチマーク(騰落率-6.2%)との乖離は0.5%程度となりました。
- ・スウェーデンクローネをベンチマークに対してオーバーウエイトとしていたことなどがマイナスに作用した一方、ノルウェークローネをベンチマークに対してオーバーウエイトとしていたことなどがプラスに寄与し、ベンチマークに対してアウトパフォーマンス(運用成果が上回る)しました。



## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第107期	第108期	第109期
	2016年5月7日～ 2016年7月5日	2016年7月6日～ 2016年9月5日	2016年9月6日～ 2016年11月7日
当期分配金	50	50	50
（対基準価額比率）	0.775%	0.764%	0.797%
当期の収益	19	27	16
当期の収益以外	30	22	33
翌期繰越分配対象額	1,261	1,239	1,206

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### <ユーロ・ソブリン・オープン>

#### ◎今後の運用方針

- ・引き続き、ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象として運用を行います。マザーファンドの組入比率をおおむね99%以上に保つ方針です。

### <ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド>

#### ◎運用環境の見通し

- ・ユーロ圏では、景気は底堅く推移しているものの、ECBによる量的金融緩和措置の延長が見込まれることや、イタリアやドイツなどの一部金融機関に対する懸念が台頭しやすいこと、イタリアの国民投票実施など潜在的な政治リスクの存在などを背景に、ユーロは売られやすい地合いが続くとみられ、円を除く主要国通貨に対して、弱含む展開になると予想しています。
- ・スウェーデンでは、依然として景気の基調はしっかりとしており物価が腰折れするリスクは少ないとみられること、通貨の水準は金融危機以降の安値圏にあることなどから、今後、金融緩和政策に打ち止め感が出るにつれ、スウェーデンクローネも円に対して持ち直すともっています。

#### ◎今後の運用方針

##### 国別資産配分

- ・ユーロ圏は、ECBによる量的金融緩和措置の延長が見込まれ、他の欧州通貨に対してユーロ安基調が続くとみられることなどから、ベンチマークに対してアンダーウエイトを維持する方針です。
- ・スウェーデンは、依然として景気は底堅く推移していることなどから、ベンチマークに対してオーバーウエイトとする方針です。
- ・ノルウェーは、景気が回復基調にあることや資源価格に安定化の兆しが見られることなどから、ベンチマークに対してオーバーウエイトとする方針です。
- ・ソブリン債以外では、事業債に関しては取り巻く環境等を勘案し、ウエイトを調整する方針です。

##### デュレーション（金利感応度）

- ・ユーロ圏は、ECBによる量的金融緩和措置の延長が見込まれるものの、景気が改善基調にあることやインフレ率にも上昇の兆しが見られることなどからデュレーションはベンチマークに対しておおむね中立とする方針です。

##### 為替取引

- ・引き続き、今後の為替動向を見極め、機動的にポジションを構築していく方針です。

##### 信用格付

- ・引き続き、投資環境を見極め、信用格付けの高い銘柄を中心に組み入れていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年 5 月 7 日～2016年11月 7 日)

項 目	第107期～第109期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
( 投 信 会 社 )	(23)	(0.357)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(12)	(0.192)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.018	(b)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 1 )	(0.015)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	38	0.594	
作成期中の平均基準価額は、6,491円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2016年 5 月 7 日～2016年11月 7 日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第107期～第109期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド	千口 16,660	千円 34,281	千口 63,441	千円 129,444

## ○利害関係人との取引状況等

(2016年5月7日～2016年11月7日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;ユーロ・ソブリン・オープン&gt;

該当事項はございません。

&lt;ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド&gt;

区 分	第107期～第109期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	1,493	563	37.7	1,573	563	35.8
為替直物取引	323	—	—	401	8	2.0

平均保有割合 98.5%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

## ○組入資産の明細

(2016年11月7日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	第106期末	第109期末	
	口 数	口 数	評 価 額
ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド	千口 846,443	千口 799,663	千円 1,605,403

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2016年11月7日現在)

項 目	第109期末	
	評 価 額	比 率
ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド	千円 1,605,403	% 98.7
コール・ローン等、その他	20,964	1.3
投資信託財産総額	1,626,367	100.0

(注) ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産 (1,624,295千円) の投資信託財産総額 (1,647,160千円) に対する比率は98.6%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=103.96円	1 ユーロ=115.33円	1 イギリスポンド=129.69円	1 スウェーデンクローネ=11.59円
1 デンマーククローネ=15.50円	1 ポーランドズロチ=26.68円		

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第107期末	第108期末	第109期末
	2016年7月5日現在	2016年9月5日現在	2016年11月7日現在
	円	円	円
(A) 資産	1,703,077,554	1,725,225,857	1,626,367,003
コール・ローン等	21,370,358	21,517,943	20,897,531
ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド(評価額)	1,681,503,654	1,703,662,695	1,605,403,611
未収入金	203,542	45,219	65,861
(B) 負債	16,517,995	16,444,021	16,187,613
未払収益分配金	13,173,109	13,154,084	12,936,201
未払信託報酬	3,332,175	3,277,435	3,239,056
未払利息	38	38	37
その他未払費用	12,673	12,464	12,319
(C) 純資産総額(A-B)	1,686,559,559	1,708,781,836	1,610,179,390
元本	2,634,621,986	2,630,816,975	2,587,240,294
次期繰越損益金	△ 948,062,427	△ 922,035,139	△ 977,060,904
(D) 受益権総口数	2,634,621,986口	2,630,816,975口	2,587,240,294口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,402円	6,495円	6,224円

○損益の状況

項 目	第107期	第108期	第109期
	2016年5月7日～ 2016年7月5日	2016年7月6日～ 2016年9月5日	2016年9月6日～ 2016年11月7日
	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 812	△ 727	△ 712
支払利息	△ 812	△ 727	△ 712
(B) 有価証券売買損益	△ 87,685,445	41,072,231	△ 54,212,740
売買益	558,777	41,328,248	1,044,691
売買損	△ 88,244,222	△ 256,017	△ 55,257,431
(C) 信託報酬等	△ 3,344,848	△ 3,289,899	△ 3,251,375
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 91,031,105	37,781,605	△ 57,464,827
(E) 前期繰越損益金	△ 126,713,704	△ 229,381,763	△ 200,248,047
(F) 追加信託差損益金	△ 717,144,509	△ 717,280,897	△ 706,411,829
(配当等相当額)	( 82,123,205)	( 83,290,770)	( 83,125,840)
(売買損益相当額)	(△799,267,714)	(△800,571,667)	(△789,537,669)
(G) 計 (D + E + F)	△ 934,889,318	△ 908,881,055	△ 964,124,703
(H) 収益分配金	△ 13,173,109	△ 13,154,084	△ 12,936,201
次期繰越損益金 (G + H)	△ 948,062,427	△ 922,035,139	△ 977,060,904
追加信託差損益金	△ 717,144,509	△ 717,280,897	△ 706,411,829
(配当等相当額)	( 82,138,320)	( 83,306,654)	( 83,141,168)
(売買損益相当額)	(△799,282,829)	(△800,587,551)	(△789,552,997)
分配準備積立金	250,264,254	242,772,051	228,978,961
繰越損益金	△ 481,182,172	△ 447,526,293	△ 499,628,036

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首 (前作成期末) 元本額 2,660,292,600円  
 作成期中追加設定元本額 37,291,500円  
 作成期中一部解約元本額 110,343,806円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.6224円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は977,060,904円です。

③分配金の計算過程

項 目	2016年5月7日～ 2016年7月5日	2016年7月6日～ 2016年9月5日	2016年9月6日～ 2016年11月7日
費用控除後の配当等収益額	5,234,240円	7,264,286円	4,259,969円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円
収益調整金額	82,138,320円	83,306,654円	83,141,168円
分配準備積立金額	258,203,123円	248,661,849円	237,655,193円
当ファンドの分配対象収益額	345,575,683円	339,232,789円	325,056,330円
1万口当たり収益分配対象額	1,311円	1,289円	1,256円
1万口当たり分配金額	50円	50円	50円
収益分配金金額	13,173,109円	13,154,084円	12,936,201円

## ○分配金のお知らせ

	第107期	第108期	第109期
1万円当たり分配金（税込み）	50円	50円	50円

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

### ◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<http://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

### 【お知らせ】

- ①信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める（分散型に分類）ため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。  
(2016年8月5日)
- ②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

## ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド

《第153期》決算日2016年6月6日    《第156期》決算日2016年9月5日  
 《第154期》決算日2016年7月5日    《第157期》決算日2016年10月5日  
 《第155期》決算日2016年8月5日    《第158期》決算日2016年11月7日

[計算期間：2016年5月7日～2016年11月7日]

「ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド」は、11月7日に第158期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第153期～第158期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	高水準かつ安定的なインカム・ゲインの確保とともに信託財産の成長をはかることを目的として運用を行います。
主 要 運 用 対 象	EU加盟国の信用度の高い（A格以上）公社債
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資は、制限を設けません。



○最近30期の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク 〔シティ欧州世界国債 インデックス (円ベース)〕		債組入比率	債券先物比率	純資産額
	期中騰落	中率	期中騰落	中率			
	円	%		%	%	%	百万円
129期(2014年6月5日)	21,134	△0.5	614.89	△0.7	97.3	—	2,615
130期(2014年7月7日)	21,341	1.0	619.19	0.7	97.3	—	2,459
131期(2014年8月5日)	21,465	0.6	620.91	0.3	95.9	—	2,457
132期(2014年9月5日)	21,625	0.7	625.64	0.8	96.9	—	2,434
133期(2014年10月6日)	21,936	1.4	634.27	1.4	97.6	—	2,439
134期(2014年11月5日)	22,985	4.8	660.06	4.1	97.2	—	2,516
135期(2014年12月5日)	24,193	5.3	698.49	5.8	97.9	—	2,609
136期(2015年1月5日)	23,966	△0.9	691.98	△0.9	97.4	—	2,568
137期(2015年2月5日)	22,807	△4.8	660.98	△4.5	95.3	—	2,367
138期(2015年3月5日)	22,825	0.1	652.71	△1.3	96.8	—	2,294
139期(2015年4月6日)	22,963	0.6	652.53	△0.0	97.1	—	2,302
140期(2015年5月7日)	22,846	△0.5	654.60	0.3	97.0	—	2,258
141期(2015年6月5日)	23,256	1.8	672.18	2.7	97.1	—	2,259
142期(2015年7月6日)	22,501	△3.2	650.83	△3.2	97.4	—	2,141
143期(2015年8月5日)	23,070	2.5	664.86	2.2	96.8	—	2,165
144期(2015年9月7日)	22,384	△3.0	642.79	△3.3	96.8	—	2,062
145期(2015年10月5日)	22,877	2.2	658.40	2.4	97.0	—	2,102
146期(2015年11月5日)	22,491	△1.7	648.93	△1.4	96.6	—	2,041
147期(2015年12月7日)	22,739	1.1	655.74	1.0	96.7	—	2,038
148期(2016年1月5日)	21,963	△3.4	631.48	△3.7	97.7	—	1,932
149期(2016年2月5日)	22,579	2.8	647.81	2.6	96.3	—	1,985
150期(2016年3月7日)	21,676	△4.0	621.70	△4.0	97.1	—	1,884
151期(2016年4月5日)	22,038	1.7	633.93	2.0	97.0	—	1,916
152期(2016年5月6日)	21,298	△3.4	609.72	△3.8	97.7	—	1,831
153期(2016年6月6日)	21,291	△0.0	610.30	0.1	97.5	—	1,825
154期(2016年7月5日)	20,250	△4.9	584.22	△4.3	97.4	—	1,707
155期(2016年8月5日)	20,136	△0.6	579.49	△0.8	97.3	—	1,700
156期(2016年9月5日)	20,747	3.0	597.34	3.1	97.2	—	1,730
157期(2016年10月5日)	20,456	△1.4	585.95	△1.9	96.5	—	1,698
158期(2016年11月7日)	20,076	△1.9	571.88	△2.4	97.0	—	1,631

(注) シティ欧州世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスで、1984年12月末を100とする欧州主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額比率で加重平均し、指数化したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		ベンチマーク 〔シティ欧州世界国債 インデックス(円ベース)〕		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		円	騰落率	円	騰落率		
第153期	(期首) 2016年5月6日	21,298	—	609.72	—	97.7	—
	5月末	21,724	2.0	622.61	2.1	97.7	—
	(期末) 2016年6月6日	21,291	△0.0	610.30	0.1	97.5	—
第154期	(期首) 2016年6月6日	21,291	—	610.30	—	97.5	—
	6月末	20,237	△5.0	581.92	△4.7	96.0	—
	(期末) 2016年7月5日	20,250	△4.9	584.22	△4.3	97.4	—
第155期	(期首) 2016年7月5日	20,250	—	584.22	—	97.4	—
	7月末	20,586	1.7	596.02	2.0	97.2	—
	(期末) 2016年8月5日	20,136	△0.6	579.49	△0.8	97.3	—
第156期	(期首) 2016年8月5日	20,136	—	579.49	—	97.3	—
	8月末	20,616	2.4	591.45	2.1	97.2	—
	(期末) 2016年9月5日	20,747	3.0	597.34	3.1	97.2	—
第157期	(期首) 2016年9月5日	20,747	—	597.34	—	97.2	—
	9月末	20,258	△2.4	585.47	△2.0	96.4	—
	(期末) 2016年10月5日	20,456	△1.4	585.95	△1.9	96.5	—
第158期	(期首) 2016年10月5日	20,456	—	585.95	—	96.5	—
	10月末	19,930	△2.6	572.52	△2.3	97.3	—
	(期末) 2016年11月7日	20,076	△1.9	571.88	△2.4	97.0	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### ●当作成期中の基準価額等の推移について

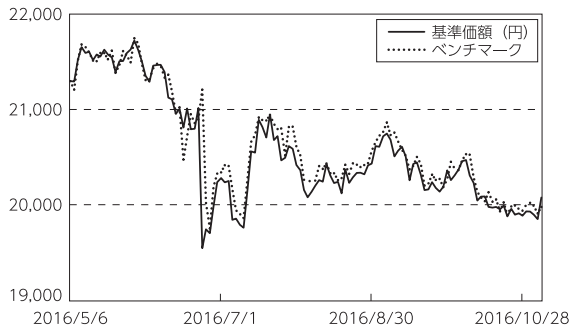
#### ◎基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ、5.7%の下落となりました。

#### ◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（-6.2%）を0.5%上回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは作成期首の値をファンド基準価額と同一にするよう指数化しています。

### ●基準価額の主な変動要因

#### 下落要因

ユーロや英ポンドが対円で下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

### ●投資環境について

#### ◎欧州債券市況

・ドイツ10年国債利回りは、英国の国民投票にて欧州連合（EU）離脱が支持され、リスク回避志向が高まったことなどから一時低下しましたが、その後は欧州中央銀行（ECB）による資産買取が縮小されるとの観測などから、利回りは低下幅を縮小しました。

・イギリス10年国債利回りは、英国の国民投票で、EU離脱が支持され、景気に対する不透明感などを背景に英国中央銀行（BOE）が利下げを実施したことなどから、利回りは低下しました。

#### ◎為替市況

・ユーロは、英国のEU離脱を巡る国民投票や欧州の銀行に対する懸念などを背景にリスク回避志向が高まったことやECBによる追加金融緩和政策を受け、円に対して下落しました。

・英ポンドは、英国の国民投票でEU離脱が支持され、先行きに対する不透明感が高まったことや、それに伴いBOEが利下げを実施したことなどを背景に、円に対して下落しました。

### ●当該投資信託のポートフォリオについて

・欧州連合（EU）加盟国の国債・政府保証債、事業債等、信用度の高い公社債（A格以上）を主要投資対象とし、これらの債券を高位に組み入れて運用を行いました。

#### ◎国別資産配分

・ユーロ圏は、ECBによる金融緩和政策の継続が見込まれたことなどから、ベンチマークに対してアンダーウエイト（投資比率を基準となる配分比率より少なくすること）を維持しました。

・スウェーデンは、景気が底堅く推移していることなどを背景に、ベンチマークに対しておおむねオーバーウエイト（投資比率を基準となる配分比率より多くすること）を維持しました。

・ノルウェーは、資源価格に安定化の兆しが見られたことや金融緩和と観測の後退などから、ベンチマークに対しておおむねオーバーウエイトを維持しました。

### ◎デュレーション（金利感応度）

- ・ECBによる金融緩和政策の継続が見込まれるものの、域内の景気は緩やかながらも堅調に推移しており、金融緩和政策に対する不透明感が高まりやすいとみられることなどから、デュレーションはベンチマークに対しておおむね中立としています。

#### ※デュレーション

「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

### ◎為替取引

- ・作成期の初めは、資源価格の安定化の兆しなどを背景に5%程度のノルウェークローネ買い、2.5%程度のユーロ及び2.2%程度のスウェーデンクローネ売りとなりました。
- ・作成期末は、資源価格の安定化の兆しなどを背景に2.0%程度のノルウェークローネ買い、及びECBによる金融政策の不透明感が高まっていることなどから2.7%程度のユーロ買いを行いベンチマークに対するアンダーウエイト幅を縮小しました。また、米国大統領選挙に伴う不透明感などから4.6%程度の日本円買いとしました。一方、政治的不透明感などを受けて4.8%程度のポーランドズロチ売り及び金融政策の不透明感などから4.5%程度のスウェーデンクローネ売りとしました。

### ◎信用格付

- ・信用度の高いA格以上の公社債を主要投資対象としています。

前記の運用を行った結果、保有しているフランスやベルギー、英国などの長期の債券の利回りが低下（価格は上昇）したことがプラスに寄与した一方、ユーロや英ポンドが円に対して下落したことなどから、基準価額は下落しました。

### ●当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・基準価額は当作成期首に比べ、5.7%の下落となり、ベンチマーク（騰落率-6.2%）とのカイ離は0.5%程度となりました。
- ・スウェーデンクローネをベンチマークに対してオーバーウエイトとしていたことなどがマイナスに作用した一方、ノルウェークローネをベンチマークに対してオーバーウエイトとしていたことなどがプラスに寄与し、ベンチマークに対してアウトパフォーマンス（運用成果が上回る）しました。

### ○今後の運用方針

#### ◎運用環境の見通し

- ・ユーロ圏では、景気は底堅く推移しているものの、ECBによる量的金融緩和措置の延長が見込まれることや、イタリアやドイツなどの一部金融機関に対する懸念が台頭しやすいこと、イタリアの国民投票実施など潜在的な政治リスクの存在などを背景に、ユーロは売られやすい地合いが続くとみられ、円を除く主要国通貨に対して、弱含む展開になると予想しています。
- ・スウェーデンでは、依然として景気の基調はしっかりとしており物価が腰折れするリスクは少ないとみられること、通貨の水準は金融危機以降の安値圏にあることなどから、今後、金融緩和政策に打ち止め感が出るにつれ、スウェーデンクローネも円に対して持ち直すとみています。

### ◎今後の運用方針

#### 国別資産配分

- ・ユーロ圏は、ECBによる量的金融緩和措置の延長が見込まれ、他の欧州通貨に対してユーロ安基調が続くとみられることなどから、ベンチマークに対してアンダーウエイトを維持する方針です。

- ・スウェーデンは、依然として景気は底堅く推移していることなどから、ベンチマークに対してオーバーウエイトとする方針です。
- ・ノルウェーは、景気が回復基調にあることや資源価格に安定化の兆しが見られることなどから、ベンチマークに対してオーバーウエイトとする方針です。
- ・ソブリン債以外では、事業債に関しては取り巻く環境等を勘案し、ウエイトを調整する方針です。

#### デュレーション（金利感応度）

- ・ユーロ圏は、ECBによる量的金融緩和措置の

延長が見込まれるものの、景気が改善基調にあることやインフレ率にも上昇の兆しが見られることなどからデュレーションはベンチマークに対しておおむね中立とする方針です。

#### 為替取引

- ・引き続き、今後の為替動向を見極め、機動的にポジションを構築していく方針です。

#### 信用格付

- ・引き続き、投資環境を見極め、信用格付けの高い銘柄を中心に組み入れていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年5月7日～2016年11月7日)

項 目	第153期～第158期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
( 保 管 費 用 )	3	0.016	
( そ の 他 )	(3)	(0.016)	
合 計	(0)	(0.001)	
作成期中の平均基準価額は、20,558円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2016年5月7日～2016年11月7日)

公社債

			第153期～第158期	
			買 付 額	売 付 額
外 国	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	国債証券	444	172
	フランス	国債証券	127	674
	オランダ	国債証券	417	107
	ベルギー	国債証券	765	113
	アイルランド	国債証券	251	1,673
	スウェーデン	社債券	—	245
国	イギリス	国債証券	千イギリスポンド 631	千イギリスポンド 827
	スウェーデン	国債証券	千スウェーデンクローネ 5,901	千スウェーデンクローネ 5,168
	デンマーク	国債証券	千デンマーククローネ 3,476	千デンマーククローネ —

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2016年5月7日～2016年11月7日)

利害関係人との取引状況

区 分	第153期～第158期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	1,493	563	37.7	1,573	563	35.8
為替直物取引	323	—	—	401	8	2.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2016年11月7日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第158期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ドイツ	270	432	49,843	3.1	—	3.1	—	—
フランス	1,845	2,495	287,774	17.6	—	15.4	2.2	—
オランダ	1,200	1,367	157,683	9.7	—	8.0	1.7	—
ベルギー	1,295	1,650	190,327	11.7	—	11.7	—	—
アイルランド	1,010	1,213	139,951	8.6	—	8.6	—	—
国際機関	1,500	1,810	208,767	12.8	—	12.8	—	—
イギリス	400	430	49,689	3.0	—	—	—	3.0
イギリス	千イギリスポンド	千イギリスポンド						
	1,228	1,834	237,933	14.6	—	14.2	0.4	—
スウェーデン	千スウェーデンクローネ	千スウェーデンクローネ						
	9,500	11,146	129,184	7.9	—	7.5	0.4	—
デンマーク	千デンマーククローネ	千デンマーククローネ						
	3,000	3,412	52,887	3.2	—	3.2	—	—
ポーランド	千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ						
	2,680	2,958	78,919	4.8	—	1.6	3.3	—
合 計	—	—	1,582,962	97.0	—	86.0	7.9	3.0

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			第158期末				償還年月日
			利率	額面金額	評価額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	国債証券	2.5 BUND 460815	2.5	130	191	22,057	2046/8/15
		5.5 BUND 310104	5.5	140	240	27,786	2031/1/4
フランス	国債証券	2.25 O. A. T 221025	2.25	200	228	26,406	2022/10/25
		3.25 O. A. T 450525	3.25	80	118	13,706	2045/5/25
		6 O. A. T 251025	6.0	965	1,461	168,601	2025/10/25
	普通社債券	1.375 GDF SUEZ 200519	1.375	300	314	36,275	2020/5/19
		4.25 BPCE SA 230206	4.25	300	370	42,784	2023/2/6
オランダ	国債証券	0.5 NETH GOVT 260715	0.5	400	409	47,217	2026/7/15
		3.25 NETH GOVT 210715	3.25	200	234	27,072	2021/7/15
	普通社債券	4.125 ABN AMRO BA 220328	4.125	600	723	83,393	2022/3/28
ベルギー	国債証券	0.8 BEL GOVT 250622	0.8	400	419	48,340	2025/6/22
		4 BEL GOVT 220328	4.0	300	370	42,711	2022/3/28
		4 BEL GOVT 320328	4.0	70	103	11,900	2032/3/28
		4.5 BEL GOVT 260328	4.5	375	523	60,335	2026/3/28
		5.5 BEL GOVT 280328	5.5	150	234	27,040	2028/3/28
アイルランド	国債証券	3.4 IRISH GOVT 240318	3.4	60	73	8,476	2024/3/18
		3.9 IRISH GOVT 230320	3.9	550	683	78,862	2023/3/20
	普通社債券	2.625 GE CAPITAL 230315	2.625	400	456	52,611	2023/3/15
国際機関	特殊債券	2.125 EFSF 240219	2.125	600	695	80,256	2024/2/19
		2.5 EUROPEAN U 271104	2.5	900	1,114	128,511	2027/11/4
イギリス	普通社債券	3.875 HSBC BANK 181024	3.875	400	430	49,689	2018/10/24
小	計					1,084,036	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	国債証券	4.25 GILT 320607	4.25	240	330	42,880	2032/6/7
		4.25 GILT 461207	4.25	180	283	36,760	2046/12/7
		4.5 GILT 421207	4.5	468	733	95,190	2042/12/7
		4.75 GILT 200307	4.75	40	45	5,959	2020/3/7
	特殊債券	6 EIB 281207	6.0	300	440	57,142	2028/12/7
小	計					237,933	
スウェーデン				千スウェーデンクローネ	千スウェーデンクローネ		
	国債証券	1.5 SWD GOVT 231113	1.5	4,000	4,467	51,778	2023/11/13
		3.5 SWD GOVT 220601	3.5	5,000	6,077	70,432	2022/6/1
	特殊債券	5 EIB 201201	5.0	500	601	6,974	2020/12/1
小	計					129,184	
デンマーク				千デンマーククローネ	千デンマーククローネ		
	国債証券	1.75 DMK GOVT 251115	1.75	3,000	3,412	52,887	2025/11/15
小	計					52,887	
ポーランド				千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
	国債証券	3.25 POLAND 250725	3.25	400	408	10,889	2025/7/25
		5.5 POLAND 191025	5.5	980	1,076	28,713	2019/10/25
		5.75 POLAND 211025	5.75	800	921	24,590	2021/10/25
	特殊債券	4.25 EIB 221025	4.25	500	551	14,726	2022/10/25
小	計					78,919	
合	計					1,582,962	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。



○投資信託財産の構成

(2016年11月7日現在)

項 目	第158期末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,582,962	% 96.1
コール・ローン等、その他	64,198	3.9
投資信託財産総額	1,647,160	100.0

(注) 作成期末における外貨建純資産 (1,624,295千円) の投資信託財産総額 (1,647,160千円) に対する比率は98.6%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=103.96円	1 ユーロ=115.33円	1 イギリスポンド=129.69円	1 スウェーデンクローネ=11.59円
1 デンマーククローネ=15.50円	1 ポーランドズロチ=26.68円		

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第153期末	第154期末	第155期末	第156期末	第157期末	第158期末
	2016年6月6日現在	2016年7月5日現在	2016年8月5日現在	2016年9月5日現在	2016年10月5日現在	2016年11月7日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	2,021,167,735	2,210,921,712	2,012,506,530	2,028,923,398	2,177,297,019	2,026,180,628
コール・ローン等	21,015,065	27,719,368	24,114,020	11,203,022	30,606,238	13,275,738
公社債(評価額)	1,780,437,607	1,663,157,444	1,655,338,410	1,682,183,037	1,639,103,931	1,582,962,088
未収入金	197,209,875	497,342,052	309,937,580	307,713,538	478,440,581	411,455,488
未収利息	21,417,754	21,689,110	21,517,589	26,132,579	27,288,157	15,631,525
前払費用	1,074,884	1,001,903	1,587,226	1,679,181	1,846,151	2,843,815
差入委託証拠金	12,550	11,835	11,705	12,041	11,961	11,974
(B) 負債	195,686,061	503,153,423	311,896,383	298,428,020	478,415,480	394,786,729
未払金	194,112,770	502,947,231	311,862,750	298,379,697	476,936,076	394,717,939
未払解約金	1,573,257	206,173	33,614	48,304	1,479,396	68,777
未払利息	34	19	19	19	8	13
(C) 純資産総額(A-B)	1,825,481,674	1,707,768,289	1,700,610,147	1,730,495,378	1,698,881,539	1,631,393,899
元本	857,388,521	843,341,478	844,568,264	834,109,266	830,514,622	812,592,595
次期繰越損益金	968,093,153	864,426,811	856,041,883	896,386,112	868,366,917	818,801,304
(D) 受益権総口数	857,388,521口	843,341,478口	844,568,264口	834,109,266口	830,514,622口	812,592,595口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,291円	20,250円	20,136円	20,747円	20,456円	20,076円

○損益の状況

項 目	第153期	第154期	第155期	第156期	第157期	第158期
	2016年5月7日～ 2016年6月6日	2016年6月7日～ 2016年7月5日	2016年7月6日～ 2016年8月5日	2016年8月6日～ 2016年9月5日	2016年9月6日～ 2016年10月5日	2016年10月6日～ 2016年11月7日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	4,656,087	4,017,546	3,975,381	4,015,343	3,735,655	3,991,413
受取利息	4,657,446	4,017,998	3,976,247	4,015,985	3,736,225	3,992,110
支払利息	△ 1,359	△ 452	△ 866	△ 642	△ 570	△ 697
(B) 有価証券売買損益	△ 5,049,851	△ 92,901,091	△ 13,545,330	47,409,120	△ 28,019,680	△ 35,709,484
売買益	21,299,337	41,052,780	18,781,719	56,830,758	8,538,778	12,312,771
売買損	△ 26,349,188	△ 133,953,871	△ 32,327,049	△ 9,421,638	△ 36,558,458	△ 48,022,255
(C) 保管費用等	△ 41,842	△ 40,620	△ 54,042	△ 36,706	△ 73,436	△ 32,830
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 435,606	△ 88,924,165	△ 9,623,991	51,387,757	△ 24,357,461	△ 31,750,901
(E) 前期繰越損益金	971,646,394	968,093,153	864,426,811	856,041,883	896,386,112	868,366,917
(F) 追加信託差損益金	3,682,894	2,060,633	4,328,883	1,968,953	4,067,680	1,514,848
(G) 解約差損益金	△ 6,800,529	△ 16,802,810	△ 3,089,820	△ 13,012,481	△ 7,729,414	△ 19,329,560
(H) 計(D+E+F+G)	968,093,153	864,426,811	856,041,883	896,386,112	868,366,917	818,801,304
次期繰越損益金(H)	968,093,153	864,426,811	856,041,883	896,386,112	868,366,917	818,801,304

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 860,035,883円  
 作成期中追加設定元本額 16,663,691円  
 作成期中一部解約元本額 64,106,979円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末2,0076円です。
- ②作成期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）  
 ユーロ・ソブリン・オープン 799,663,086円  
 ユーロ・ソブリン・オープンV A（適格機関投資家専用） 12,929,509円  
 合計 812,592,595円

【お 知 ら せ】

信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める（分散型に分類）ため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。

(2016年7月1日)